

Academic Library 著者自らが新刊を紹介します。

統語論 (朝倉日英対照言語学シリーズ5)

文学部・教授・樗木勇作(共著)

▶A5判▶145ページ▶朝倉書店▶2,700円+税▶
2013年1月15日▶英語学や言語学分野における生成
文法に基づく統語論の入門書。第5章「照応と削除」
を担当した。照応と削除は統語論と意味論の接点に
関わるテーマについて扱われており、最小主義プロ
グラムと呼ばれる最新理論の成果も取り入れて概説
した。



デモのメディア論—社会運動社会のゆくえ

メディアプロデュース学部・准教授・伊藤昌亮

▶四六判▶272ページ▶筑摩書房▶1,600円+税▶
2012年12月12日▶アラブの春、ウォール街占拠、反
原発デモ……いま世界中で沸騰するデモの深層に
何があるのか。ソーシャルメディア時代の新しい社
会運動の意味と可能性に迫る。



医学研究 (シリーズ生命倫理学15)

人間情報学部・教授・山崎茂明(共著)

▶A5判▶258ページ▶丸善出版▶5,800円+税▶
2012年11月30日▶日本の生命倫理学の到達点を示
すことを目標に、シリーズ生命倫理学(全20巻)として
刊行。医療実践や生命科学を研究を支える生命倫理の
重要テーマがまとめられている。「医学研究」は、シ
リーズ15巻目として編集され、7章「研究者の不正行
為と発表倫理」を執筆した。



心の物語と現代の課題

—心理臨床における対象理解—

心理学部・教授・後藤秀爾

▶A5判▶158ページ▶ナカニシヤ出版▶1,800円+
税▶2012年8月20日▶今の時代を生きる私たちが抱
える心の課題を、「時代の病理」という視点から明ら
かにしつつ、無意識のレベルで求めている「心の物
語」に辿り着く道筋を論じた書。心理臨床の実践に基
づく経験知が盛り込まれている。

